

よくわかる、食事姿勢のミカタ♪

せらび新宿

堀尾 隆、志垣健一郎、河野悦子、伊藤匠、中村慎吾

せらび新宿のはじまり

2015年6月 第1回WG開催！

セラピスト目線の食事姿勢評価ツールを作ろう！

ヘルパーやケアマネが、利用者の食事姿勢を見て
チェックすることができるツールを考えることに。

「食べる☆デイ」とリンクをし、デイサービスでビデオ撮影した利用者の食事の様子
を観て、食事姿勢を評価し、事例を蓄積していこう！

「なるべく簡単な
ものを作ってね」

「SSK-0みたい
なやつ」



せらび新宿の経過

2015年7月 第2回WGで

デイホーム笑みの佐藤所長参加！



デイホーム笑みの食事風景を撮影したビデオを観覧し、PTとして気づくところを意見交換。

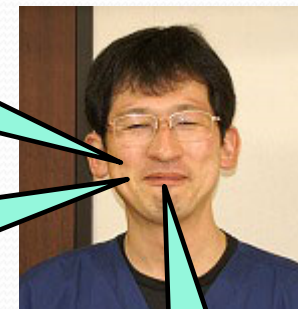
映像に映っている方は要介護1～2の方で、食事摂取は自立でしたが・・・

姿勢を見ると、円背の方が多くことに気付く。

そこで、円背の評価ツールや、「新食研体操」を作る動きに！

「円背の人が
多いねえ」

「円背の評価ツール
を作っちゃおう！」



「新食研体操を
作っちゃおう！」

せらび新宿の経過

2015年8月 第3回WGで

円背の評価方法を検討しよう、ということで話し合いをしたが・・・。

**Milneさん、寺垣さんが
論文発表していました**

**Thank you!!
Milneさん、寺垣さん**



Milneさんは、円背の評価を立位で測定をする方法を編み出し、それをベースに
寺垣さんは座位で測定する方法を編み出している。

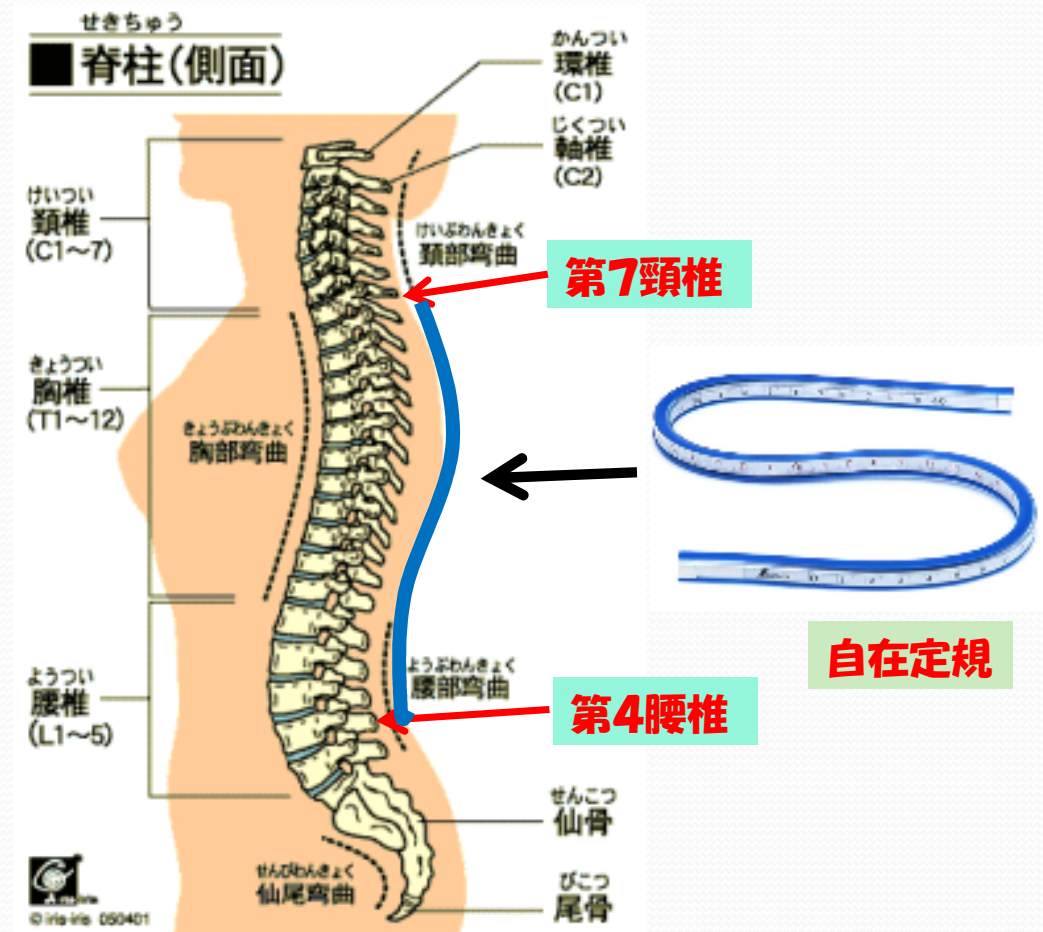


簡単にできそうぞお

円背の評価法

その評価の方法とは・・・

頸椎7番目と腰椎4番目を結ぶ線に沿って自在定規を当てる。



円背の評価法

⇒当てた自在定規の形状をそのままに、自在定規を方眼用紙にのせ、筆でなぞる。頸椎7番目と腰椎4番目を結ぶ直線を引く

⇒ 一番弧を描いている箇所を探し、直線からの距離をはかる。...

って...

何か簡単そうじゃない...

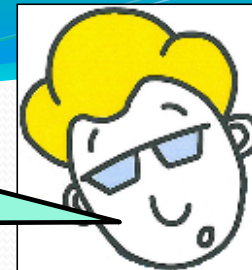


「なるべく簡単なものを作ってね」



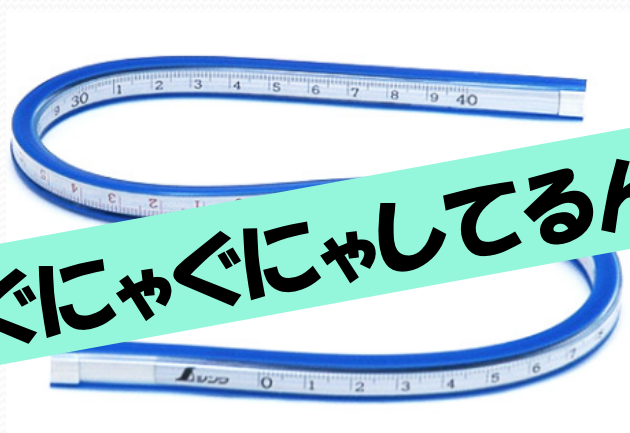
円背の評価法

「介護現場じゃ無理だってば！」



結局、この寺垣さんの測定方法は、簡単ではないことがわかる。⇒自在定規は非常に柔らかく、形状を維持しようとしても崩れてしまう。⇒測定したものの信憑性が疑われる。

だって…ぐにゃぐにゃしてるんだもん



食事姿勢の評価を考えることに

2015年9月 第4回WGで

もう一度原点に戻り、「食べにくいといった方はどのような方なのだろうか？」ということを考えることになった。

食事姿勢そのものに着目！

椅座位で、いくつかの部位の評価をし、食べるのに良い姿勢か悪い姿勢かを評価しよう！

「もう一度原点に
戻ろう！」

「姿勢そのものに
着目しよう」



食事姿勢の評価を考えることに

①足底がしっかりと床に接地しているか



「ついてないわよ」

②骨盤がズレていないか



③体幹の可動性はどうか
(屈曲、伸展、回旋)

食事姿勢の評価を考えることに

食事姿勢の評価を考えることに

①足底がしっかりと床に接地しているか



②骨盤がズれていないか

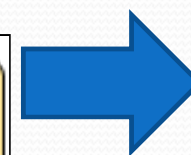


③体幹の可動性はどうか
(屈曲、伸展、回旋)

屈曲



「ついてないわよ」



この3つを評価し、
合計点を出す。

理学療法士
につなぐ



福祉用具の
調整を行う



自主として
もらう



5秒間止める

しかし・・・評価方法は、今もなお検討中。

評価方法を考えるのは、なかなか簡単ではなかった・・・。

そもそも食事姿勢が悪いというのはどのような姿勢なのか？

食事姿勢が悪いと思われる方でもちゃんと食べれている方がいる。

姿勢が崩れていても立ち直り反射が出ている人は、ちゃんと食べれている。

両目が水平であれば姿勢はOKなんじゃない？

などなど、これ以外にも様々な評価方法があり、いったい何のための評価方法を作ろうとしているかが明確にならなくなってしまった。



今日の話は・・・

そもそもWGでの話し合いの中で、皆がそれぞれ考えていることがバラバラであり、共通したベースを持つ必要があった。



大淵先生の講義内容をベースにし、「せらび新宿」メンバーの共通理解としました。

今日は、PTや福祉用具の担当者は、現場でどのように患者さんを見ているのか。そして、どのようにアプローチしているのかをお話します。

今日は、皆さんがすぐに役立てることができる「見方」がテーマとなります。

